



本資料は、米国アッヴィ社が2020年5月1日(米国時間)に発表したプレスリリースを一部、日本語に翻訳し、2020年5月11日(日本時間)、皆さまのご参考として供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料(英文)については、www.abbvie.comをご覧ください。なお本文中には日本未承認薬、未承認適応症に関する情報が含まれています。

PRESS RELEASE

2020年5月11日

アッヴィ、2020年第1四半期の業績を発表

- 第1四半期の希薄化EPSはGAAPベースで、2.02ドルでした。調整後希薄化EPSは、2.42ドルでした。
- 第1四半期の売上高は、GAAPベースで10.1%増、営業ベースで10.7%増の86億1,900万ドルでした。
- 第1四半期のヒュミラ®の米国での売上高は、13.7%増の36億5,600万ドルで、米国外ではバイオシミラーの影響により、報告ベースで14.9%減、営業ベースで12.8%減の10億4,700万ドルでした。
- 第1四半期の血液腫瘍領域の売上高は、報告ベースで32.1%増、営業ベースで32.3%増の15億4,900万ドルでした。第1四半期のイムブルビカ®(日本ではヤンセンファーマ株式会社が承認、発売)の全世界での売上高は20.6%増の12億3,200万ドルで、その内訳は、米国内が9億6,600万ドル、米国外が2億6,600万ドルでした。ベネクレクスタ®の全世界の売上高は、3億1,700万ドルでした。
- 第1四半期のスキリージ®の全世界での売上高は、3億ドルでした。リンヴォック®の全世界での売上高は、8,600万ドルでした。
- 医療提供体制、患者さん、コミュニティを支援するため、COVID-19救済金として3,500万ドルを寄付しました。また、世界の保健当局や機関と連携した取り組みで、COVID-19の臨床研究を支援しています。
- アッヴィはアラガン社の買収について、欧州委員会からは最終承認を得て、米連邦取引委員会とは同意審決について合意したと発表しました。アッヴィは、2020年5月にアラガン社の買収手続きを完了するものと見込んでいます。
- 2020年の単独のGAAPベースの希薄化EPSの見通しは、7.66~7.76ドルから7.60~7.70ドルへ修正します。これは中間値において44.9%増となります。2020年の単独の調整後希薄化EPSの見通しは9.61~9.71ドルを提示します。これは中間値において8.1%増となります。



米国イリノイ州ノースシカゴ、2020年5月1日—アッヴィ(NYSE: ABBV)は、2020年第1四半期(2020年3月31日終了)の業績を発表しました。

アッヴィの会長兼 CEO のリチャード・A・ゴンザレスは、次のように述べています。「困難な状況の中、従業員の安全を確保し、患者さんへ確実に医薬品を届け、COVID-19 パンデミックで大きく影響を受けた人々への支援を行うために、できる限りのあらゆる取り組みを行っています。強固なポートフォリオ、そして多くの献身的な従業員のコミットメントにより、ビジネスは好調に推移したと考えます」

第1四半期の業績

- 全世界の売上高は、報告ベースで 10.1%増、営業ベースで 10.7%増の 86 億 1,900 万ドルでした。これには、COVID-19 パンデミックに関わる在庫の影響による 240 ベースポイントが含まれます。
- ヒュミラ®の全世界の売上高は、報告ベースで 5.8%増、営業ベースで 6.4%増の 47 億 300 万ドルでした。米国での売上高は 13.7%増の 36 億 5,600 万ドルでした。米国外ではバイオシミラーの影響により、報告ベースで 14.9%減、営業ベースで 12.8%減の 10 億 4,700 万ドルでした。
- 血液腫瘍領域の全世界での売上高は報告ベースで 32.1%増、営業ベースで 32.3%増の 15 億 4,900 万ドルでした。イムブルビカ®の全世界での売上高は、20.6%増の 12 億 3,200 万ドルで、その内訳は、米国内が 9 億 6,600 万ドル、米国外が 2 億 6,600 万ドルでした。ベネクレクスタ®の全世界の売上高は、3 億 1,700 万ドルでした。
- スキリージ®の全世界の売上高は、3 億ドルでした。リンヴォック®の売上高は、8,600 万ドルでした。
- GAAP ベースで、売上総利益率は 77.5%でした。調整後売上総利益率は 82.7%でした。
- GAAP ベースで、売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、19.7%でした。調整後の売上高に占める販売費および一般管理費の割合は 18.6%でした。
- GAAP ベースで、売上高に占める研究開発費の割合は、16.0%でした。調整後の研究開発費の売上高に占める割合は、パイプラインへの投資を反映し、14.3%でした。
- GAAP ベースで、営業利益率は 41.8%でした。調整後営業利益率は 49.8%でした。
- GAAP ベースで、純支払利息は 4 億 2,800 万ドルでした。調整後の純支払利息は 2 億 8,400 万ドルでした。
- GAAP ベースの税率は、2.8%でした。調整後の税率は、9.7%でした。
- 希薄化 1 株当たり利益は、GAAP ベースで 2.02ドルでした。特定項目を除く調整後希薄化 EPS は、2.42ドルでした。これには、COVID-19 パンデミックに関わる在庫の影響による 0.09ドルが含まれます。

注意：「営業ベース(Operational)の対比は恒常為替レートで提示し、前年の為替レートにより現地通貨売上高の比較を実施しています。



詳細な情報はこちらをご覧ください(英文オリジナル)。

<https://news.abbvie.com/news/press-releases/abbvie-reports-first-quarter-2020-financial-results.htm>

アッヴィについて

アッヴィは、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業です。世界で最も複雑かつ深刻な疾患に対する、革新的な先進治療薬の開発を行っています。その専門知識、献身的な社員、イノベーション実現に向けた独自の手法を駆使して、免疫疾患、がん、ウイルスおよび神経疾患の 4 つの主要領域における治療に貢献することをミッションに掲げています。世界 75 カ国以上の国において、アッヴィの社員は世界中の人々の健康上の課題に対するソリューションを生み出していくため、日々仕事に取り組んでいます。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。Twitter アカウト [@abbvie](https://twitter.com/abbvie)、[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) や [Instagram](https://www.instagram.com/abbvie) でも情報を公開しています。

日本においては、1,200 人を超える社員が、医療用医薬品の開発、輸入、製造販売に従事しています。自己免疫疾患、新生児、肝疾患、神経疾患、がんの各領域を中心に、患者さんの人生を豊かにしたいと願い、日々の業務に取り組んでいます。詳しくは、www.abbvie.co.jp をご覧ください。

アッヴィ 今後の見通しに関する記述

本リリースにおける記載には、1995 年米国私募証券訴訟改革法に示される「今後の見通しに関する記述」が含まれています。「確信」「期待」「予測」「計画」という言葉およびそれに類する表現は、一般に将来予想に関する記述となります。当社からの注意喚起として、このような将来予想に関する記述は、当社の事業、業績、決算への COVID-19 パンデミックの影響など、リスクおよび不確実性による影響を受け、実際の結果と将来予想に関する記述での予測との間に大幅な相違が生じる可能性があります。このようなリスクおよび不確実性には、知的財産に対する脅威、他社製品との競合、研究および開発プロセスに特有の困難、敵対的訴訟または政府による介入、業界に関連する法律および規制の変更などがあります。アッヴィの経営に影響を及ぼす可能性のある経済、競合状況、政府、科学技術およびその他の要因については、Securities and Exchange Commission(米国証券取引委員会)に提出済みのアッヴィの 2019 年度アニュアルレポート(10-K 書式)の 1A 項「リスク要因」に記載しています。アッヴィは、法律で要求される場合を除き、本リリースの発表後に発生した出来事または変化によって、今後の見通しに関する記述を更新する義務を負わないものとします。